

甲斐駒ヶ岳から鋸岳

9月24日(土) 天候 晴れ

北沢峠(6:45)⇒甲斐駒ヶ岳(11:20~50)⇒六合石室・水くみ(12:50~13:40)⇒中ノ川乗越(15:10)

9月25日(日) 天候 晴れのち曇り

中ノ川乗越(5:40)⇒鋸岳第2高点(6:15~6:25)⇒鹿窓(7:15)⇒鋸岳第1高点(8:15~35)⇒角兵衛沢のコル(9:05~10)⇒岩小屋(10:00~20)⇒角兵衛沢出合い(12:00~10)⇒戸台(15:00)

概況:

甲斐駒ヶ岳にはいろいろなルートから何度も登っているのですが、今回はまだ登っていなかった鋸岳まで縦走した。鋸岳は足場の悪い箇所もあるが、ルート整備が行き届き登山者の安全確保に努めていた。これだけ整備が行き届くとルートについての解説など面白くないだろう。

登山は経験と事前準備を行い未知のコースやピークに登るという目標を完結することによってこそ、ほんとうの楽しみや充実感が得られる。ここまで過保護にしなければならない事情もわかるが、未知のルートを踏査した充実感や登山で求められる危険を回避する能力を低下させてしまっているとしか言いようがない。

クサリの設置、道標や目印の設置は転落や道迷いを防ぎ遭難防止には欠かせない。しかし、山はいつも至れり尽くせりとはいかない。整備されていることが当たり前とっていると、もし標識のない道や自然災害によるルートの崩壊、増水などに出くわしたときにパニックに陥ってしまうであろう。市民化することに異議を唱えているわけではない。想像力や洞察力を備えることが登山のルールでなければと思うからである。

むしろ鋸岳を下った後の戸台川の河原歩きでは、あちこちでルートが崩壊しており、高巻きや丸木を渡したり大石を投げ込んでの徒渉があった。こちらの方がルート探しの難しさがあるだろう。最後に、不思議な自然の造形である「鹿の窓」の景観は魅力的であった。



甲斐駒ヶ岳山頂の賑わい



六合石室



鋸岳第2高点



鹿の窓への登り



鹿の窓



第1 高点を望む



鋸岳第1 高点